

# 地域特産とうもろこし、そらまめの 生産振興による直売所の販売額拡大



計画期間：令和5年度～令和6年度  
対象者：村田ファーマーズ103名  
大河原農業改良普及センター  
高橋洋介、宍戸嘉克、高橋真樹子、庄子正秀、中込佑介、進藤裕子

## 1. 村田町の現状

### 村田町の地域特産品



とうもろこし「味来」



そらまめ

# 1. 村田町の現状

## 地域特産品販売拠点 道の駅「村田」の取り組み



地域の農業者、商工業者にとって重要な売り場となっている

# 2. 課題の背景

## 村田ファーマーズ

道の駅「村田」の生産出荷団体（平成10年に設立）

会員数：103名

## 現状

高齢化による作付面積及び出荷額減少

コロナ化で組織的な活動が停滞

→技術研鑽の機会喪失



## 2. 課題の背景

---

### とうもろこしとそらまめの現状

- ・ 需要に生産が追いついていない
- ・ 品質の低下に伴うクレーム



## 2. 課題の背景

---



X (旧Twitter) で実際にあったクレーム

### 3. 成果目標

---

#### 定性的目標

- 防除や肥培管理等を中心とした基本技術が徹底される。
- 新たな作付希望者が把握され生産活動が開始される。
- 出荷規格の必要性が認識され検討される。

#### 定数的数値目標

とうもろこしとそらまめの出荷額

R4	R5	R6
100%	120%	130%

### 4. 活動事項

---

#### 活動事項

- ①生産性向上技術の定着支援
- ②新規作付誘導支援
- ③販売促進取組支援



## 5. 活動状況

### ②新規作付誘導支援



とうもろこし抑制栽培研修会

利用アワーサービスの特長へ

### とうもろこしをつくってびんせんか？

利用地でとうもろこしの作付け情報と最新の紙式を届けています。農産ハウスを併用して研修をせうし、遠方よりも長く研修を行う研修会場を行うことも可能です。利用地の特産物であるとうもろこしの作付けに取り組みませんか？

**とうもろこし講習会**

会場：6月 267円 7月 254円 8月 239円 9月 224円

日程：6月15日 10時～12時  
7月 24日 10時～12時  
8月 23日 10時～12時  
9月 22日 10時～12時

講師：TEL: 0224-83-5505 FAX: 0224-83-5510  
参加希望の方は6月15日までに上記にご連絡ください。

価格：150～300円/畝

注：過去2年の販売実績平均

品種	1畝	1.5畝	2畝	2.5畝	3畝	3.5畝	4畝
ドレックス	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4
赤赤もの	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4
ゴールドマッシュ	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4

**品種**

**ドレックス**  
・黄色と赤のハイカラー品種  
・85日中熟地産品種  
・サイズが安定  
・収量が安定  
・乾燥が早く、貯蔵性も高い。暑熱に強い。

**赤赤もの**  
・85日中熟地産品種  
・収量が500kg以上  
・糖度20%前後を安定して採れる。多量もよし。糖度が安定し、貯蔵性に優れる。

**ゴールドマッシュ**  
・90日の中熟地産イロイロ品種。収量の多い。7月上旬から収穫可能。糖度の高く、しじむにくい。貯蔵性が良く、貯蔵性にも優れる。・暑熱に強い。

**栽培上の注意**  
・育苗時に温度をしっかりと確認する。  
・追肥はかん水で株と葉に栄養を行き渡らせる。  
・連年の病害虫防除にアグリメイトに気を配る。

大沼農業振興センター 先進研修第一号 農場  
連絡先: TEL: 0224-928-3498 FAX: 0224-928-3138

とうもろこし新規作付者向けチラシ

## 5. 活動状況

### ③販売促進取組支援

- ・他直売所への視察研修
- ・他直売所での事例紹介
- ・出荷規格導入について検討



## 6. 成果

---

- 栽培の基本技術の浸透が進み、出荷額が増加した。
- 新規作付者が誘導され、作付け面積が増加した。
- 品質向上に対する意識が芽生え、研修会開催予定。

	とうもろこし	そらまめ
出荷額	151%	116%
新規作付者	+2名	+1名、3法人
面積	13.5ha → 14.8ha	6.6ha → 7ha

## 7. 今後に向けて

---

### もう一段階上の生産性向上技術の定着支援

- ・リアルタイムでの情報発信（通信、LINEグループ）
- ・チェックシートを活用
- ・経験の浅い生産者へのフォロー、定着支援



### 販売促進に向けた具体的な取り組みを支援

- ・目揃い会の実施
- ・品質向上に向けた研修会の実施

このチェックシートは収穫終了後に回収します。  
これを基に1年間の作業内容を振り返り、翌年の栽培に活用します！

栽培管理でうまくいったことや、反対にうまくいかなかったこと、生育期間中に発生した問題（病気や生理障害等）を記入してください。

令和5年度そらまめ栽培暦に基づくチェックシート 農氏名 農面積 農品種

月	項目	作業時期	内容	実施日	良かった・悪かったこと
2月	病害虫 防除	収穫前	さび病、アブラムシ防除のために農薬を散布する。 使用薬剤：ジマンダイセン水和剤 モスピラン水溶剤	6月1日	5月の農薬散布のタイミングを逃してしまい、病気が広がってしまった。
	誘引	着莢期	摘心が終わってから、畝の4隅に支柱を立てて、ひもで周囲を押さえる。	5月9日	誘引を行った結果、倒伏を防ぐことができた。
	ほ場選定		圃場の連作を避け、マメ科の作物を前作で植えてなかった場所を選ぶ。	月 日	
10月 月上旬	深耕	堆肥施用前	根張りを良くするため、プラウや深耕ロータリーを使用して作土層20cm以上を目指す。	月 日	
10月 月中旬	堆肥・肥料の施用	定植1か月前 目安	10a当たり、堆肥を2t以上施用し、「コーティングそらまめ」を140g施用する。	月 日	
	播種		播種後はしっかりとかん水する。	月 日	
	開花日			月 日	
5月 月上旬	病害虫 防除	開花後	さび病、アブラムシ防除のために農薬を散布する。 使用薬剤：	月 日	
5月 月中旬	摘心		草丈が120cmを目安に先端を摘心する。	月 日	
	土寄せ (3回目)		3回目の土寄せをする際は、茎葉を傷つけないことと倒伏をしないように気をつけましょう。 生育の様子を見て、液肥の薬面散布も検討してください。	月 日	
	倒伏防止	着莢期	摘心が終わってから、畝の4隅に支柱を立てて、ひもで周囲を押さえる。	月 日	
	敷きわら		乾燥防止のため、稲わらを敷く。	月 日	

## そらまめ チェックシート